

2024.02.07(水) 生徒の気持ち胸に熱く  
 ～県立中央病院 杜陵高に感謝状贈る【盛岡タイムス】

# 生徒の気持ち胸に熱く

県立中央病院(宮田副院長)は6日、杜陵高本校三田正巨校長、定時制95人、通信制169人に感謝状を贈った。同校ボランティア同好会(山田ありさ部長、部員3人)の齊藤凛さん(1年)と中島絢香さん(同)、三田校長らが同院を訪れ、宮田院長から感謝状を受け取った。

県立中央病院

## 杜陵高に感謝状贈る

### 美化活動や癒やしの明かりで



中央病院北側の道路の落ち葉を掃く山田部長(2023年11月13日撮影)

同校は昨年、同院周りに散乱していた落ち葉を掃いたり、同院敷地内にある木にイルミネーションを設置したりなどの活動を行っていた。

宮田院長は「病院の職員や患者に対する温かい気持ちは大変うれしく思うし、私たちの胸も熱くなった。皆さんの貢献が、われわれ職員や入院している人に伝わってきた。感謝

の気持ちとして行ってくれたのかもしれないが、こちらとしても感謝の気持ちを伝えたい」と力を込めた。齊藤さんは「自分のちよつとした思いやりで、賞まで受け取ることに、改めて周りの人の役に立っているのだと感じることができた。これからも続けていきたい」と思いを語った。中島さんは「今回の

ボランティアを通して、地域の人の役に立つことができたので良かった」と笑みを浮かべた。落ち葉掃きは11月に、山田部長が通学路のバス停、同校正門などに散乱していた落ち葉をほうきで掃いていた。同院北側の道路や近くのイルミネーションの設置は12月に、同部や校のシンボルである木に、LED約4千個が取り付けられ、灯は16日まで行われ、着々の癒やしなれた。病院の窓からも見える。



宮田院長から感謝状を受け取る齊藤さんと中島さん(右から)



イルミネーションを設置した杜陵高の生徒たち(2023年12月14日撮影)